

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2024年2月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
<解除時期・取消料> ※オプションツアーも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

利用予定航空会社 利用予定バス会社

ANA(全日本空輸) または JAL(日本航空) または スカイマーク

ゆいバス、おろくバス、豊見観光バス、那覇バス、琉球バス交通、北部観光バス

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料・及び手配料金 ②交通費: 旅程に明示した航空機(エコノミークラス往復)、貸切バス代金(Aコース:2日間、Bコース:3日間)、ドライバー諸経費、高速・有料道路代 ③宿泊費: 下記および同等クラスの基本宿泊料および消費税、サービス料【那覇市内】サン沖縄または同等クラス(基本2名一室)
④食事代: 旅程表に明示した食事代(Aコース:朝食1回 昼食1回 夕食1回、Bコース:朝食2回 昼食2回 夕食1回)
⑤見学費用: 旅程表に明示した見学地の入場料(自由行動時を除く)
⑥国内旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円) ⑦添乗員同行の費用(Aコース:1日目の那覇空港から2日目の那覇空港まで2日間同行、Bコース:1日目の那覇空港から3日目の那覇空港まで3日間同行) ⑧現地の方との交流費用 ⑨講師謝礼・同行諸経費

■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
②超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金 ③個人的費用: 電話、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸経費 ④ツアー中のお食事の際の飲み物代(1日目夕食は1杯のみ含む)
⑤一人部屋追加料金: 4,000円(1泊合計)、8,000円(2泊合計)
⑥集合・解散場所までの交通費、前後泊の費用
■お部屋割りについて
基本2~3名様/1室 ※ホテルの状況によりお一人部屋の手配ができないこともあります。また、相部屋をご希望の場合でも、お部屋割りによりお一人部屋をご利用いただく場合があります。その際は一人部屋追加料金を承ります。あらかじめご了承ください。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業84号 JATA正会員

株式会社 **富士国際旅行社**


TEL: **045-212-2101** FAX: **045-212-2201**
henshu@fits-tyo.com 担当: 西須(さいす)・山田・金光(かなみつ)

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理
営業時間: 月~金曜日/AM10:00~PM6:00 (土日・祝日は休ませていただきます。)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。右記QRコード(ホームページ申込フォーム)からもお申込みいただけます。②**申込金20,000円**(旅行費用内金)または旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

郵便振替口座番号 **00140-4-39332** 加入者名 **株式会社 富士国際旅行社**

ウェブ申込フォームはこちら 

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。(領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください)
③ツアー実施確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。
④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などの、ご旅行資料を送付いたします。

株式会社 富士国際旅行社 宛
●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書 6月23日「慰霊の日」に沖縄を訪れる旅 ◆参加希望コースに○⇒【Aコース・Bコース】

ふりがな	性別	旅行出発時年齢	ふりがな	性別	旅行出発時年齢	
氏名	男女	歳	同行ご家族	男女	歳	
生年月日	年	月	日生	年	月	日生
住所	(〒 -)		出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・関西・伊丹・中部・福岡・その他() ※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。		
電話 FAX 携帯番号 メール	() - () - () @		参加人数及びお部屋割りについて	<input type="checkbox"/> 1人部屋希望※一人部屋利用/別途追加料金がかかります。 <input type="checkbox"/> 2名~3名部屋: () 様と同室を希望 <input type="checkbox"/> 2名~3名部屋: どなたでも良い(男女別)		
旅行中緊急連絡先	【連絡先名】 (続柄:) 【住所】 【電話番号】		前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 <input type="checkbox"/> 前泊を希望する () 空港周辺 ※料金別途ご案内		
アンケート	今回の企画をどこでお知りになりましたか? ○お付け下さい。()		旅行社への連絡事項	食べられないものやアレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。		

※大変恐れ入りますが、航空便予約と国内旅行傷害保険加入のため、年齢と性別情報が必要となります。



「辺野古」県民投票の会代表・元山仁士郎さん

DEPT代表 アクティビスト eriさんと行く

6月23日「慰霊の日」に沖縄を訪ねる旅

Aコース(1泊2日)		Bコース(2泊3日)	
旅行期間	6月22日(土)~6月23日(日)	旅行期間	6月22日(土)~6月24日(月)
旅行代金	97,500円 5/22(水)締切	旅行代金	119,500円 5/22(水)締切

※上記は羽田空港発着の旅行代金です。羽田以外の空港をご希望のお客様は、お申し込み後、旅行社より差額料金をご案内します。

定員 (A・B合わせて)	40名(最少催行15名)	添乗員 (A・B合わせて)	那覇空港より1名同行
--------------	--------------	---------------	------------

元山 仁士郎さん
もとやま じんしろう

県民投票 224

宜野湾市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。現在、一橋大学大学院法学研究科博士課程。SASPL(特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、SEALDs、SEALDs RYUKYUの立ち上げ/中心メンバー。
2018年4月から大学院を休学し、「辺野古」県民投票を実現する「辺野古」県民投票の会の代表を務めた。2019年1月には県民投票への不参加を表明した5つの市の市長に対してハンガーストライキを行い、全県実施を実現するために尽力した。

※元山さんはツアー全行程同行予定です。

eriさん

HP⇒ <https://lit.link/erierieri#>

DEPT Company代表・経営者・作り手・アクティビスト・パワースイフトアンバサダー・気候辞書ファウンダー
アパレル会社経営・プロダクトのデザイン・古着のバイイング/販売を通して、繊維産業、地球の環境課題、気候危機に対してどうアプローチできるかを模索中。またアクティビストとしてあらゆる社会問題に関心を寄せ、またそれをどう市民が課題解決のためにアクションできるのかを考えシェアし、さまざまなプロジェクトを立ち上げ運営に携わっている。

※eriさんはツアーの部分同行になる場合がございます。



2004年8月13日米軍ヘリが墜落した沖縄国際大学

日付	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕) ※見学日時・順序は変更になる場合がございます。
① 6/22 (土)	各地空港発 那覇空港集合/発 辺野古着 ホテル着	航空機 専用車	各地空港から那覇へ(羽田空港午前7:00集合予定) ※羽田以外の空港ご希望の方は、時刻とご料金別途ご案内いたします。 <テーマ:基地問題> * 辺野古漁港・ていーま漁港・瀬嵩の浜 * 安和地域を訪問 ホテルに荷物を置き夕食場所へ ■夕食交流会(琉球新報社の方と交流予定) 那覇市内泊 朝×昼×夕○
② 6/23 (日)	ホテル発 那覇空港着 ホテル着	専用車 航空機	<テーマ:6月23日慰霊の日を沖縄です> * ひめゆりの塔と資料館 * 魂魄の塔(県民によって初めて建立された慰霊碑) * 沖縄県平和祈念資料館見学 * 沖縄平和祈念公園で行われる「沖縄全戦没者追悼式」に参加 ◆昼食休憩 <テーマ:沖縄戦跡巡り> * 糸数アブチラガマ(真っ暗な壕に入壕体験) * 海鳴りの像・小桜の塔(対馬丸慰霊碑) ※式典の詳細は日が近づいてから決まるため、最終の旅行資料にてご案内いたします。 Aコース(1泊2日) Bコース(2泊3日) * 不屈館(沖縄戦後史について学ぶ) * 不屈館(沖縄戦後史について学ぶ) ※航空便時刻が早い方は、不屈館を見学せず、そのまま那覇空港へ送迎します見学後、那覇空港へ移動 見学後、空港を經由しホテルへ 空路、各地空港へ □夕食(各自で自由食) 到着後、解散 (羽田空港21時30分到着予定) (羽田空港21時30分到着予定) 朝○昼○夕× 那覇市内泊 朝○昼○夕×
③ 6/24 (月)	ホテル発 那覇空港着 各地空港着	専用車 航空機	<テーマ:基地問題> 中部基地見学 * (※1)鎮守の館(那覇駐屯地内) * (※2)沖縄戦史料館(キャンプキンザー内) * 沖縄国際大学(米軍ヘリ墜落現場) * 佐喜真美術館(「沖縄戦の図」) ◆昼食休憩 * 道の駅かでな(展望台より極東最大の軍事基地・嘉手納基地見学) * 浦添西海岸の海「ていだ結の浜」を埋め立てから守るための活動を行う「美ら海を未来に残したいうちなーんちゅの会」と交流予定 * 空手会館または道場にて、伝統文化を学ぶ 那覇空港へ移動 空路、羽田空港へ(羽田空港21時30分到着予定) ※1と2の訪問地は、受入側のご都合で見学不可となる場合がございます。見学できない場合は、代替見学地へご案内いたします。なお、見学可能となった場合は、見学申請のために、氏名・年齢・住所・電話番号・職業・役職のお客様情報を事前にお伺いし、提出します。予めご承知おきください。 朝○昼○夕×

那覇市 戦後史が学べる「不屈館」

沖縄で反米軍基地闘争や本土復帰運動の象徴的存在であった瀬長亀次郎氏の遺品を中心に展示し、沖縄の現代史を学ぶことができる資料館。館内には200冊に上る日記や、沖縄を統治していた米当局が出版を許可しなかった瀬長氏の本土復帰論が掲載された雑誌など、歴史的に貴重な資料も展示されています。

不屈館は、会員の皆様の会費や、来館者をご購入いただくグッズ・本の売上のみで運営されています。しかし、新型コロナウイルスの影響で来館者が激減。運営自体も大変難しくなっています。不屈館への募金や来館、グッズ購入などが運営維持につながります。



南部戦跡 糸数アブチラガマ

アブチラガマは、沖縄本島南部の南城市玉城字糸数(なんじょうしたまぐすくあざいとかず)にある自然洞窟(ガマ)です。沖縄戦時、もともとは糸数集落の避難指定壕でしたが、日本軍の陣地壕や倉庫として使用され、戦場が南下するに連れて南風原陸軍病院の分室となりました。

今回のご旅行では、糸数アブチラガマに入壕し、戦争当時、真っ暗な壕で起こった悲惨な史実をお聞きます。

豊かな自然と独特な文化を有する沖縄は、太平洋戦争において、史上まれにみる熾烈な地上戦が行われ、「鉄の暴風」と呼ばれたほどのすさまじい爆弾投下と砲撃により、緑豊かな島々は焦土と化しました。沖縄に上陸した米軍は、住民を收容所に強制隔離し、土地の強制接収を行い、次々と新しい基地を建設していきました。住民は土地を有無を言わず奪われました。太平洋戦争終結後も、朝鮮戦争の勃発など国際情勢の変化に伴い新しい基地が必要になると、武装兵らによる「銃剣とブルドーザー」で住民を追い出し、家を壊し、田畑をつぶして、新たな基地を造っていきました。日本本土では昭和31年(1956年)の経済白書で「もはや戦後ではない」とされ、高度経済成長が始まりましたが、ちょうどその時期に、本土の米軍基地の整理縮小の流れを受けて、本土から沖縄に海兵隊の移転が進みました。戦後、沖縄は、昭和47年(1972年)の本土復帰まで27年間にわたり、米軍の施政権下にありました。本土復帰後も、本土では基地の整理縮小が進む中、沖縄には多くの米軍基地が日米安全保障条約に基づく提供施設・区域として引き継がれ、県民は過重な基地負担を背負われ、現在もその負担は重くのしかかっています。(沖縄県基地対策課パンフ「沖縄から伝えたい。米軍基地の話Q&A BOOK」令和5年版、P1より。)

知っておきたい

辺野古 新基地建設のこと

沖縄本島北部の東海岸にある大浦湾は、多様な生態系を誇り、世界的にも貴重なアオサゴの群集とジュゴンが息づく海です。そんなキレイな海を望む名護市辺野古では、普天間基地の移設先として辺野古への新基地建設が進んでいます。2018年9月30日投票された沖縄県知事選では、翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地反対を掲げて初当選した玉城デニー前衆院議員が、過去最多となる39万6632票を獲得しました。2019年2月24日に実施された辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票では、県民の7割が反対を示しましたが、国は移設に向けた工事を続けました。「基地がある所は狙われる。二度と悲惨な戦争は起こしてはいけない」「未来を生きる子供たちにきれいな海を残したい」という思いで、多くの人が現在も基地反対の座り込みを続けています。

そして、現在、国は、大浦湾のマヨネーズ並みとされる軟弱地盤の設計変更を沖縄県に国が申請しましたが、県はこれを不承認とし、埋め立て工事はストップしていました。軟弱地盤の改良工事を承認しない県に対して国が行った是正の指示が違法かどうか争われた裁判で、2023年9月、県の敗訴が確定。その判決により、県は工事する義務を負いましたが、応じない姿勢をとりました。そのため、国は、県に変わって国が代執行を行う訴訟を起こし、裁判所は認めました。地方自治法に基づく代執行は初めてで異例の事態です。県は判決を不服として最高裁判所に上告するものの、県側が勝訴するまで代執行を止めることはできず、2024年1月から防衛省は大浦湾の工事を着手しています。

6月23日 「慰霊の日」と沖縄県営平和祈念公園

1945年6月23日。沖縄の防衛に当たっていた日本軍司令官の牛島満中将や、その部下が自決したことにより、沖縄戦における日本軍の組織的戦闘が終結したとされます。沖縄県ではこの日を「慰霊の日」と呼び、県内では追悼式が開かれ、平和への祈りに包まれます。

公園内の「平和の礎」には、アジア・太平洋戦争から沖縄戦にいたるまでに亡くなった沖縄県出身者すべてと、沖縄戦で亡くなった本土の人、及びアメリカ、イギリス、台湾、朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国の戦没者、計242,046名の名前が刻まれています(2023年6月23日時点)。広場の中央には「平和の火」が灯され、「世界の恒久平和を祈念し、平和情報を発信する場所」とされています。



南部戦跡 ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆり平和祈念資料館は、1989年にひめゆり同窓会によって設立されました。以来、ひめゆり学徒隊生(証言員)が展示室で戦争体験を伝え、戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを伝えてきました。2021年4月にリニューアルオープンし、新たな展示では、戦争を知らない今の世代にも戦争体験が身近に伝わるよう、絵やイラスト、戦争前の生き生きとした表情の写真が多く取り入れられています。



※写真はすべてイメージです



▲▼辺野古の浜



▼嘉手納基地



▼さとうきび畑

